⑽　施工計画の内容が著しく不適当でない者、及び評価項目に対し全項目において施工計画の提案があり、技術提案書が所定の枚数を超えていない者、提案書が所定の１行あたりの文字数・１ページあたりの行数を超えていない者、提案書の文字サイズが制限ポイント未満でない者、提案項目数が所定の項目数を超えていない者。

なお、提出に必要な評価項目の詳細は入札説明書によるものとする。

3　施工技術競争型総合評価方式に関する事項

⑴　施工技術競争型総合評価方式の仕組み

本工事の施工技術競争型総合評価方式は、競争参加申請者から申請時に技術提案と技術提案プレゼンテーション前の指定の日までに入札書を求め、技術提案の技術評価点が50点以上の者を選定し、選定された者の入札書の開札を行い、中日本高速道路株式会社契約規則（平成18年11月９日付中日本高速道路株式会社規程第25号）第18条における契約制限価格（以下「契約制限価格」という。）の範囲内の入札額で最も総合評価点が高い者を落札者とする方式である。併せて、落札者と合理的な施工方法や資材調達方法等に係る技術的な協議を実施し、その協議に基づく価格で契約する。

⑵　技術提案及び入札書の提出　申請者は、申請書、確認資料等の提出に併せて技術提案書（施工計画）及び、技術提案プレゼンテーション前の指定の日までに入札書を提出すること。入札書は封書により提出すること。

⑶　技術提案に関する事項　技術提案は、以下の項目について提出するものとし、資料は入札説明書に基づき作成するものとする。

評価項目①～④のうち㋐～㋓で１項目でも施工計画の提案が無かった場合、技術提案書が所定の枚数を超えている場合、所定の１行あたりの文字数・１ページあたりの行数を超えている場合、文字サイズが制限ポイント未満の場合または施工計画の１項目でも不可のある場合は、不適格とする。

また、評価項目①～④のうち㋐～㋓の提案は、それぞれ最大５項目までとし、項目数の多少による評価ではなく、その項目に対する提案を評価指標をもとに、その有効性を総合的に評価するものとする。なお、所定の項目数を超えている場合は不適格とする。

１）施工計画（施工方法及び仮設備計画の変更は可能とするが、工事目的物の変更を伴う提案は不可とする。工事目的物とは、契約する単位項目全てを示すもので、単位項目を施工するにあたっての仕様を契約書及び設計図書で示したものをいう。ただし、コンクリート構造物に関しては、硬化後の形状・寸法を変更せず所定の要求性能を満たす範囲での提案は可能とする。）

①　管理体制・手法

②　品質管理

③　安全管理

④　環境対策

⑷　技術提案の評価項目及び評価基準　技術提案の評価項目及び評価基準は下記のとおりとする。

１）施工計画　評価項目及び評価基準は下記のとおりとする。

①　管理体制・手法

㋐　「品質管理」、「安全管理」及び「環境対策」に対する当現場での具体的な管理体制・手法

下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

②　品質管理

㋑　橋梁下部工コンクリートのひび割れに着目した品質管理

㋒　盛りこぼし橋台部の盛土施工の更なる品質向上

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

③　安全管理

㋓　構造物構築時、切土掘削作業時における供用中の東名阪自動車道本線、四日市ジャンクションランプの通行車両に対する安全管理

㋔　土運搬における主要地方道四日市多度線の通行車両、通学者に対する安全管理

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

④　環境対策

㋕　土工工事における水質汚濁防止対策・土砂流出防止対策

㋖　近接する人家への更なる騒音・振動対策

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

技術提案の評価指標は下記のとおりとする。

優　一般的事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもので、数値的根拠や検討結果が示されており、提案内容の信頼性が高いと認められる内容のもの

良上　「良」に比べ、やや優れていると認められる内容のもの。

良　一般的事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもの。

良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの。

可　一般的事項は述べられているが、提案の具体性も特段の新規性も認められない内容のもの。

不可　一般的事項の基準を満たしていない内容のもの。

※一般的事項とは、設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の基準をいう。

⑸　技術評価点の付与方法　技術提案の評価項目及び技術評価点の付与方法は下記のとおりとする。

１）施工計画

①　管理体制・手法

㋐　「品質管理」、「安全管理」及び「環境対策」に対する当現場での具体的な管理体制・手法

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

②　品質管理

㋑　橋梁下部工コンクリートのひび割れに着目した品質管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

㋒　盛りこぼし橋台部の盛土施工の更なる品質向上

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

③　安全管理

㋓　構造物構築時、切土掘削作業時における供用中の東名阪自動車道本線、四日市ジャンクションランプの通行車両に対する安全管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

㋔　土運搬における主要地方道四日市多度線の通行車両、通学者に対する安全管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

④　環境対策

㋕　土工工事における水質汚濁防止対策・土砂流出防止対策

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（15点）優15点・良上11.25点・良7.5点・良下3.75点・可０点・不可（不適格）